

シーベル 蛍光灯照明器具

照明器具をご使用になる前に必ず「取扱い上の注意事項」をお読み下さい。

取扱い上の注意事項

⚠ 警告

- ランプやセードを紙や布でおおったり、燃えやすいものを近づけないで下さい。火災の原因となります。
- 適合した型の指定されたワット数のランプを必ず使用して下さい。短寿命、破損によるケガ、あるいは器具の過熱の原因となります。
- ランプ交換や器具掃除のときは、必ず電源を切って行って下さい。電源を切らないと感電の原因となります。
- しろうと工事は危険です。電源の工事は工事店・電気店におまかせください。
- 蛍光灯器具は電気周波数に合った器具をお使いください。60Hz(ヘルツ)と50Hz(ヘルツ)用の地区があります。まちがえますと、ランプの寿命が短くなったり、過熱焼損の原因になります。



⚠ 注意

- ランプはソケットに確実に取付けて下さい。落下し破損してケガの原因となることがあります。
- 灯具に水をかけたり、ぬれたもので触れたりしないで下さい。感電や火災の原因となることがあります。
- 点灯中や消灯直後はランプが熱いので絶対に手や肌を触れないで下さい。ヤケドの原因となることがあります。
- 放熱用の穴をふさいだり、照射面をふさいでしまう物を置いたりしないで下さい。変色や焼損・火災の原因となることがあります。
- 塗料などを塗らないで下さい。ランプが過熱し破損の原因となることがあります。
- 灯具に洗剤や殺虫剤を掛けしないでください。発煙や火災の原因となることがあります。
- 温度や湿度の高いところでは使用しないで下さい。破損や過熱の原因となることがあります。
- 電源プラグの曲がったものを差し込んだり、中途半端に差したりしないで下さい。感電や発火の原因となることがあります。
- コードは固定したり、はさんだり、加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、なじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、加熱したりしないで下さい。破損して火災や感電の原因となることがあります。
- コードを動かすについたり消えたりする場合、またコードが部分的に熱い場合はコード内部の電源が切れています。焼損・火災の原因になりますので使用を中止してください。
- 灯具をはずして使用したり、分解したり、改造したりしないで下さい。感電や発火・火災の原因となることがあります。
- 表示された電圧で使用してください。高い電圧で使用すると、短寿命や過熱、まれに破損の原因となることがあります。
- 振動・衝撃を与えないで下さい。短寿命や破損の原因となることがあります。
- 引火する危険性の雰囲気(ガソリン・可熱性スプレー・シンナー・ラッカー・粉塵など)で使用しないで下さい。火災や爆発の原因となることがあります。
- 酸など腐食性雰囲気のところでは使用しないで下さい。漏電や落下の原因となることがあります。
- 点灯中のランプを間近で長時間見つめないで下さい。目が痛くなったり、視力障害の原因となることがあります。
- 使用済のランプは割らずに廃棄してください。ランプを割るとガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。
- 電源プラグは、定期的に掃除しほこりなどを取り除いて下さい。感電や火災の原因となることがあります。



株式会社 ミツヤ電器製作所

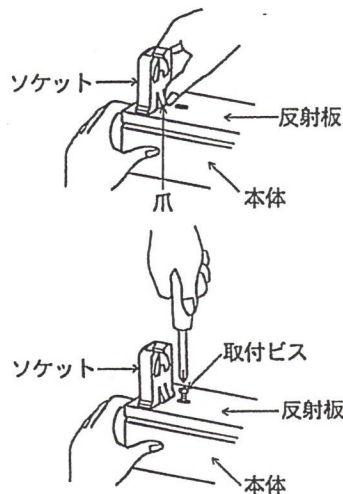
大阪市淀川区三津屋南2-12-7
TEL(06)6301-6389

1. 周波数について

この器具には周波数が50Hz用と60Hz用の区別があります。必ずご使用する地域の周波数と器具の周波数があっているか確認してください。

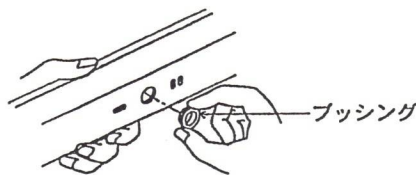
2. 反射板の取付け取はずし方

- ①ソケットの爪を押し込んで(ソケット側)反射板を引き上げてください。
- ②はめる時は反射板をソケットに合わせて水平に落とし込んでください。
- ③反射板と本体を付属のビス2本で取付けてください。

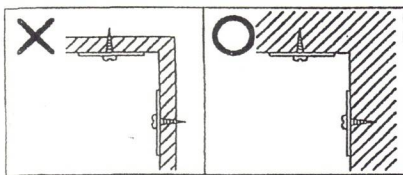


3. 本体の取付け方

付属のブッシングを本体の電源穴にはめ込んでください。電源線と器具の接触を防ぎます。



4. 器具の取付け方法

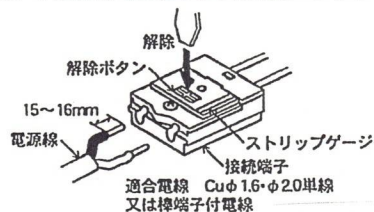


本体を天井又は壁面に付属の取付ネジで取付けてください。

5. 電源の接続方法

電源線を器具内の接続端子に確実に差し込んでください。はずす時は解除ボタンを押し、電源線を抜いてください。

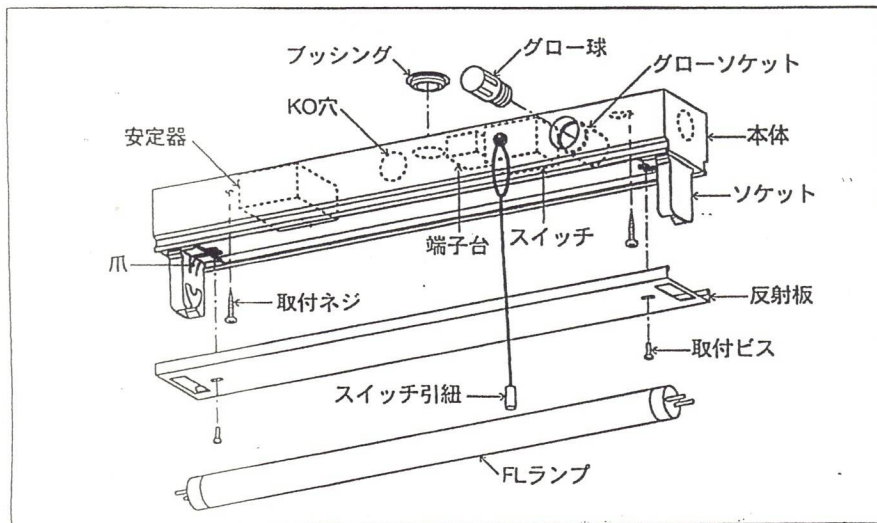
△警告 電源の接続を確実に行ってください。接続が不完全な場合は火災の原因になります。



6. 各部の名称

- ①取付けられた本体に反射板をはめ込んでください。
- ②FLランプを本体にセットしてください。
- ③スイッチ引紐をスイッチに結び、スイッチ引紐を引く事により点灯→消灯をします。

棒端子付電線(MC-2000)は付属しておりません
別途お買い求めください。

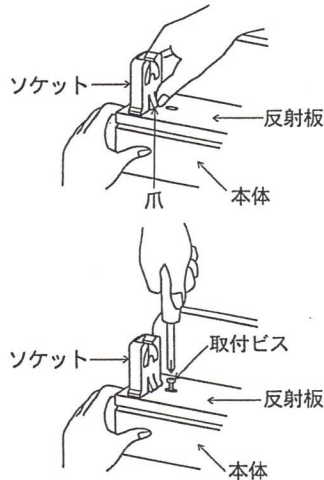


1. 周波数について

この器具には周波数が50Hz用と60Hz用の区別があります。必ずご使用する地域の周波数と器具の周波数があっているか確認してください。

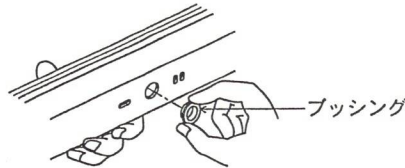
2. 反射板の取付け取はずし方

- ①ソケットの爪を押し込んで(ソケット側)反射板を引き上げてください。
- ②はめる時は反射板をソケットに合せて水平に落とし込んでください。
- ③反射板と本体を付属のビス2本で取付けてください。

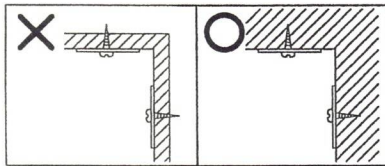


3. 本体の取付け方

付属のブッシングを本体の電源穴にはめ込んでください。電源線と器具の接触を防ぎます。



4. 器具の取付け方法

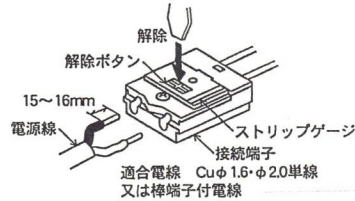


本体を天井又は壁面に付属の取付ネジで取付けてください。

5. 電源の接続方法

電源線を器具内の接続端子に確実に差し込んでください。はずす時は解除ボタンを押し、電源線を抜いてください。

△警告 電源の接続を確実に行ってください。接続が不完全な場合は火災の原因になります。



6. 各部の名称

- ①取付けられた本体に反射板をはめ込んでください。
- ②FLランプ・グロー球を本体にセットしてください。
- ③スイッチ引紐をスイッチに結び、スイッチ引紐を引く事により点灯→消灯をします。

棒端子付電線(MC-2000)は付属しておりません

別途お買い求めください。

